

高島屋東京店で東通村産品をPR!

去る6月15日(水)から6月21日(火)まで、株式会社高島屋東京店(東京都中央区日本橋)の地下1階食品売場「味百選コーナー」において、「味百選青森県東通村名産品特集」が開催され、尻屋漁業協同組合、野牛漁業協同組合、東通村産業振興公社の3者が、東通村として出展しました。

この度の出展は、今年1月にも開催されましたが、その際、お客様にとっても好評であったことから、同店から村に対して、出展してほしいとの依頼があり実施したものです。

尻屋漁業協同組合からは「天然蝦夷活あわび」、「浜ゆであわび」、「塩水生うに」、「粒ウニ」、「だしこんぶ」、「干ふのり」などを、野牛漁業協同組合からは「帆立醬」、「ホタテの佃煮」、「ホタテ干し貝柱」、「ホタテ冷凍生貝柱」、「ホタテの水煮」を、東通村産業振興公社からは「東通牛ステーキ(真空冷凍)」、「煮込みハンバーグ」、「ビフテキジャーキー」、「ビアースンケン」、「ウインナー」、「ブルーベリージャム」などを、それぞれ出品しました。

お客様の中には「前回の催事で買って美味しかった」ということで、再度購入いただいた方も多数おりました。また、催事場には越善靖夫村長も訪れ、お客様に東通村の安全・安心な食材や村の観光PRなどを行いました。東通村自慢の海の幸とその加工品、東通村産の黒毛和牛を使用した加工品に対して、多くのお客様が関心を示し購入していただき、6度目の出展となる今回も盛況のうちに終了しました。

村では引き続き、村内で生産された安全・安心な食材を活かし全国にPRしていきたいと考えております。



催事では安全・安心な食材の出展を通じ多くの方々に『東通村』をPRしました

第61回 “社会を明るくする運動”

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～



東通中学校吹奏楽部による演奏

7月4日(月)、「第61回社会を明るくする運動」並びに「下北一周愛のキャラバン隊」の伝達式が東通中学校において行われました。

この運動は、犯罪等で罪を犯した人たちの更生保護の理解を深め、力を合わせて明るい社会づくりを目指そうと、全国的に幅広い活動が展開されています。

当日は、むつ下北地区保護司会の河村虎順会長他50名余りが東通中学校を訪れ、全校生徒の前で、法務大臣及び青森県知事からのメッセージが越善靖夫村長に手渡される伝達式(吉澤副村長が代理受領)が行われ、その後、東通中学校吹奏楽部による演奏が発表されました。

終了後、キャラバン隊は村内地区の広報活動と、皆さんの協力を呼びかけました。